

# 30

# 周年記念誌

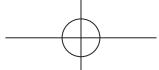
30th Anniversary

\*DATA PROTECT「注文時、本表示は除去」 ※ 64bit-OS-PCの場合、画像は注文時と同画質の 300dpiですが、32bit-OS-PCの場合、画像は低画質の 100dpiで表示されています。（注文時は、高画質印刷）



夢への挑戦

かたるべ会 30年の歩み



# 基 本 理 念

社会福祉法人「かたるべ会」は障碍がある無しに関わらず、  
社会人として普通に暮らせる社会（ノーマライゼーション）の実現に向け活動します。  
また、仕事（社会参加）、生活（衣食住）、余暇という生活のリズムがバランスよく保たれ、  
メリハリのある生活が確保されることも重要です。

## ＜仕事＞

- \*全員「社会的労働」に向け活動します。
- \*仕事は社会人としての義務です。積極的に仕事に参加します。（やれることはやる）
- \*適材適所の「社会的労働」を追求します。
- \*障碍の種別や程度を問わず「社会的労働」を追及します。

## ＜生活＞

- \*グループホーム、一人暮らし、結婚など、普通の生活を実現します。
- \*親や福祉に生かされるのではなく、自分で生きることを援助します。
- \*精神的自立、経済的自立を実現します。

## ＜余暇＞

- \*自分の意思で、自分の時間を自由に過ごせる環境を実現します。
- \*地域の中で普通に利用できる余暇環境と人間関係の実現。

## ＜援助のあり方＞

障碍者と職員の関係を含め、人と人の関係は対等です。  
しかし、障碍者が社会の中で普通に暮らす為には援助が必要な場合があります。  
その援助のあり方は

「指導・教育・訓練」ではなく、「おおらかな対応」と「細やかな配慮」です。

現状は大変厳しい社会です。

障碍者が地域の中で普通に暮らすためには、多くの壁が存在しています。

かたるべ会は、その壁の一つ一つを壊しながら、普通に暮らせる環境を開拓していきます。

そして、その力の源は、「現状の社会に対する強い問題意識」と、

人が人として大切にしあえる社会の実現をしようとする「心」と「行動力」です。



## かたるべ会 理事長 平野 章

1990年8月1日、6名で始めた「かたるべ会」ですが、30年たって300名を超える組織となりました。

かたるべ会は、「普通に働き」「普通に生活」することを中心活動してきました。

「就労」「結婚」「子育て」、そして現在では「職域開拓」や「新しい生活様式での仕事と生活」、そして最も重要な「相互理解の持てる社会づくり」に力を入れています。

地域社会での相互理解はもちろん、職場内、家族内、夫婦での相互理解（信頼関係）が大切であると考え活動しています。

一人一人が認め合い、尊重しあえる社会。一人一人が大切にされる社会を目指します。

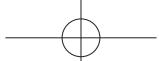
かたるべ会は今後も挑戦し続けます。

今後も、ご支援ご協力よろしくお願い申し上げます。

\* DATA PROTECT 「本文誌」本表示は除外

※ 64bit-OS-PC の場合、画像は本文時と同画質の 300dpi ですが、32bit-OS-PC の場合、画像は低画質の 100dpi で表示されています（本文時は、高画質印刷）

（本文時は、高画質印刷）



# かたるべ会 30年のあゆみ

|           |                  |
|-----------|------------------|
| 1990年 8月  | かたるべ社 開設         |
| 1994年 4月  | 第2かたるべ社 開設       |
| 1994年 4月  | グリーンハイツ 開設       |
| 1997年 4月  | ビーンズ 開設          |
| 1998年 4月  | アムール 開設          |
| 1999年 4月  | ハイツマモル 開設        |
| 2002年 4月  | フォレスト 開設         |
| 2003年 10月 | 社会福祉法人かたるべ会 法人認可 |
| 2005年 4月  | セルフィッシュ 開設       |
| 2009年 4月  | アローズ 開設          |
| 2009年 8月  | 第2ビーンズ 開設        |
| 2010年 4月  | 第3かたるべ社 開設       |
| 2010年 4月  | 短期入所事業 開設        |
| 2011年 2月  | 第2グリーンハイツ 開設     |
| 2012年 3月  | アポロ 開設           |
| 2013年 3月  | ジャスパー 開設         |
| 2013年 3月  | ジャスミン 開設         |
| 2014年 1月  | かたるべ地域相談室 開設     |
| 2014年 3月  | マモルハウス 開設        |
| 2015年 3月  | スカイ 開設           |
| 2016年 3月  | フラット 開設          |
| 2017年 4月  | うれしの 開設          |
| 2018年 3月  | フレンズ 開設          |
| 2020年 3月  | ビット 開設           |

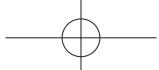


## カルチャーチェンジ指針

～否定される文化から、肯定する文化へ～

- (1) 強みに注目し、弱みに注目しない
- (2) 違いを認め合う（スキル、価値観、宗教・・・）
- (3) 遊び心を取り入れ、楽しく、生き生きと
- (4) 円滑なコミュニケーション（否定せず、肯定しあう）
- (5) 挑戦！発見！新しい自分、そして社会！

\*DATA PROTECT「表示時は本表示は除外」※ 64bit-OS-PCの場合、画像は表示時は高画質の300dpiですが、32bit-OS-PCの場合、画像は低画質の100dpiで表示されています（表示時は高画質印刷）



# かたるべ会の誕生

\*DATA PROTECT [本文時 本表示は除外] ※ 64bit-OS-PC の場合、画像は本文時と同画質の 300dpi ですが、32bit-OS-PC の場合、画像は低画質の 100dpi で表示されています（本文時は、高画質印刷）

## 1972年

かたるべ会の原点

『誰もが自分を認めてほしい』

## 1978年

理事長 平野の卒業論文

『精神薄弱児（者）、隔離、収容から共に生きる場への展望』

### <時代背景>

当時、知的障害者は「精神薄弱者」と呼ばれていた。

その後、「知恵遅れ」→「知的障害」と変化していった。

そして、障害者施設は人里離れた山奥にあるのが当たり前だった。

地域の中や駅前などには無かった。グループホームもまだ無い時代だった。

障害者の行き場は少なく、地域や親族にも障害者がいることは隠されることもあった。

## 1990年8月 [創立記念日 8月 1日]

理事長 平野の自宅から、**かたるべ会**が始まった。

開設のきっかけは、当時平野が勤めていた中小企業が香港へ工場移転する話があり、

10名の知的障害者と5名の精神障害者が失業することになった。

何名かは再就職先を見つけることができたが、

再就職できなかつた4名の知的障害者の進路先として、かたるべ会を立ち上げた。

この頃、社会福祉法人同愛会の高山理事長のご厚意により、

同愛会の事業所である「幸陽園」をお借りして準備を進めることができた。

しかし、当時仕事中心の作業所は少なかつた。

行政が作業所に求めていたことは、生活訓練や余暇活動であった。

そのため、補助金は出せないとのことから、個人事業主として開所する。

（仕事中心という考え方を受け入れられず、多くの批判もあった）

障害がある無しに関わらず、仕事を通じて社会に参加するということを大事にした。

社会は様々な人が働いていて、成り立っている。人は生きるために働く。

## 1991年4月

その後、仕事中心としての活動が認められ、横浜市障害者地域作業所として補助金を受ける。

（当時、年間650万円／障害者10名）

ソニーのスピーカー、組み立て作業等をしていた。

第1回 **かたるべ社**入社式を平野自宅で行う。

## 1991年5月

障害者地域作業所として、鴨居に移転する。（現在の**第1かたるべ社**）

当時、市議会議員であった丹野さんとの協力もあり、こちらの場所を紹介していただいた。

鴨居駅前のとても通いやすい、地域の中にある作業所になった。

開所式の会場は近くの駐車場。（あおぞら開所式）

## 1994年4月

**第2かたるべ社** 開設 （当時、場所は小机）



# 日中事業所 ①



## かたるべ社 開設

1990年 8月

仕事中心の作業所として、平野の自宅にて開設。時代背景として、作業所の役割は生活介護色が強い中、仕事中心という考えが受け入れられず、多くの批判を受ける。補助金は出せないとのことから、個人事業所として開所する。

## 第1かたるべ社

1991年 4月

横浜市障害者地域作業所として、補助金を受ける。仕事中心の作業所に対して多くの批判を受けるが、個人事業所として7ヶ月間の活動が認められる。年間650万円／障害者10名。

## 第1かたるべ社 鴨居に移転

1991年 5月

障害者地域作業所として、鴨居に移転。  
現在の第1かたるべ社の場所。

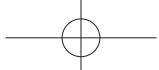
作業風景の様子。

## 第2かたるべ社 開設

1994年 4月

障害者地域作業所として、小机に開設。

\*DATA PROTECT「本文語」本表示は除外】  
※ 64bit-OS-PC の場合、画像は本文時と同画質の 300dpi ですが、32bit-OS-PC の場合、画像は低画質の 100dpi で表示されています（本文時は、高画質処理）



# かたるべ会 設立当時を知る人たち



社会福祉法人同愛会 理事長

**高山 和彦**

平野さんは横浜の障害福祉の開拓者の一人、そしてかたるべ会はチームとしてその障害福祉を担ってきた一翼です。それが独自な分野を切り拓いてきたと思っています。「障害の有無に関係なく、人間として生まれてきて良かった、そして人間らしい人生を地域の中で実現したい」という想いを、ブレることなく今まで続けてきたことが、かたるべ会の大きな柱になっていると思います。

横浜の支援をしている団体として、最先端を走っている団体です。



かたるべ会 副理事長

**丹野 貞子**

平野さんとは共通の知人がいて、居酒屋で出会いました。自宅で作業所を始めるとも聞いていて、気になっていました。自分の選挙事務所を譲ってほしいと言われた時にも、一緒に商店街に挨拶に行き（挨拶は大事）、共感してもらえたし、とにかく「やっちゃん！」という感じでしたね。今思うと、よくやったなという感じ。あと印象に残っていることは、サファリパークに泊りがけの旅行に行ったこと、純粹に楽しかったし、かたるべ会の一員として、気を使わずにいられましたね。



横浜市社会福祉協議会

**小野 広久**

平野さんが「作業所を作りたい」と事務所に来られたのが最初の出会いでした。ただ、当時の横浜市の作業所は重度の障害者の行き場として考えていたので、仕事中心の作業所は受け入れられず、話し合いを重ねました。

今でこそ、作業所で働くということは当たり前ですが、当時は違ったので、作業所の在り方について一石を投じてくれたのは平野さんです。

私もかたるべ会が好きだったので、よく遊びに行って手伝っていました。



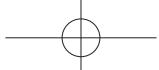
養護学校教諭

**三島 賢治**

かたるべ会は強い理念性を持ち、行き場確保だけではない作業所の一つでした。仕事にこだわっていて、税金が免除になるのに確定申告をしていたことにはとても驚いたことを覚えています。よく作業所に入り歩いて、ふらっと寄ったら、「工場に納品してほしい」と頼まれたこともあります（笑）

また、当初は「生活支援センターかたるべ社」という名前で、生活面の支援も考えられていて、数年後にグループホームができたことも驚きましたね。

\* DATA PROTECT 「本文語」本表示は除去】※ 64bit-OS-PC の場合、画像は本文時と同画質の 300dpi ですが、32bit-OS-PC の場合、画像は低画質の 100dpi で表示されています（本文時は、高画質印刷）



# 第2かたるべ社 + 第3かたるべ社 ジャスミン + うれしの

\*DATA PROTECT [注文時、本表示は除去] ※ 64bit-OS-PCの場合、画像は注文時と同画質の300dpiですが、32bit-OS-PCの場合、画像は低画質の100dpiで表示されています（注文時は、高画質印刷）

## 1996年4月

**第2かたるべ社** 鴨居に移転。（現在の場所）

## 2010年4月

**第3かたるべ社** 開設。

2008年に起きた“秋葉原通り魔事件”がきっかけであり、社会に生きづらさを抱えている人のために、居場所作り支援として始めた。この時は発達障害等、障害者手帳がない方がほとんどであったため、横浜市の補助事業である、「地域活動支援センター作業所型」として開所。障害者手帳の有無に関わらず、受け入れをした。

### <時代背景>

\* 秋葉原通り魔事件

2008年6月8日、千代田区外神田のJR秋葉原駅近くで事件発生。歩行者天国となっていた横断歩道に2t トラックが突っ込み、通行人を5人を撥ね、車から降りた容疑者が持っていたダガーナイフで次々と通行人を殺傷。この事件により7人が死亡、10人が重軽傷を負う大惨事となった。犯人には生育歴に課題があり、社会との繋がりがなかった。

## 2010年4月

**短期入所** 開設。（第3かたるべ社に併設）

様々な家庭環境で生活している人がおり、生活支援の必要性を感じて始めた。

## 2013年4月

**ジャスミン** 開設。（企画提案制度から始まった事業所）

当時、リーマンショックや東日本大震災等の影響により、長引く不況の中、受注作業だけでは仕事が足りなくなっていた。

そこで、新たな仕事の開拓が必要となり、職域開拓を目的に企画提案を全職員で取り組んだ。

- ・ 2010年 D-1グランプリ エアギターで準グランプリを受賞
- ・ 2014年 D-1グランプリ 劇団かたるべ一座が「ラーメン屋の生涯」でグランプリ受賞
- ・ 2015年 D-1グランプリ ジャスミンが喜劇「ジャスミンの救世主」でグランプリ受賞
- ・ 2016年 D-1グランプリ ジャスミンが喜劇「トゥーランドット」でグランプリ受賞
- ・ その他、大学などの講演活動や取材活動・ドキュメンタリー制作活動を継続中

### <時代背景>

\* リーマンショック

2008年にアメリカの会社を発端とした、世界金融危機。

\* 東日本大震災

2011年3月に東北地方で起きた大地震。地震による津波や原発事故等も起きた。

死者は約16,000人。現在も行方不明者がいる。

## 2017年4月

**うれしの** 開設。

完全バリアフリー施設であり、他事業所では受け入れが難しかった車イスの方も働いている。

放課後等デイサービスも開設し、小学校1年生から高校3年生までの児童の居場所となっている。



# 日 中 事 業 所 ②

\*DATA PROTECT「本文語」本表示は除く】※ 64bit-OS-PC の場合、画像は本文時と同画質の 300dpi ですが、32bit-OS-PC の場合、画像は低画質の 100dpi で表示されています（本文時は、高画質印刷）



## 第2かたるべ社 鴨居に移転

1996年 4月



## 第3かたるべ社 開設

2010年 4月

2008年に起きた“秋葉原殺傷事件”がきっかけであり、社会に生きづらさを抱えている人のための、居場所作り支援として始めた。



## 短期入所を併設

2010年 4月

社会に生きづらさを抱えている人たちの中には、様々な家庭環境が背景にあり、生活支援も必要と考え、併設した。

\*現在は障害の有無に関わらず、自立に向けて誰でも気軽に利用している。生活に関する相談、援助も行う。



## ジャスミン 開設

2013年 4月

新しい職域開拓を目的として、立ち上げた事業所。

自主製品（肉まんや月餅等の菓子製造）の他にも、喜劇や太極拳・取材活動を始めた。



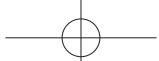
## うれしの 開設

2017年 4月

生きがいの持てる人生に向けた活動をしている。

また、児童放課後等デイサービスを開始した。

健康食と適度な運動、音楽や対話を通して、信頼関係を深め、心の安定を図る取り組みをしている。



# 就労支援

\*DATA PROTECT「本文時、本表示は除外」　※ 64bit-OS-PC の場合、画像は本文時と同画質の 300dpi ですが、32bit-OS-PC の場合、画像は低画質の 100dpi で表示されています（本文時は、高画質印刷）

## 1992年

ワーナーランパート株式会社 横浜パッケージセンターの開所に協力する。

（現在のファイザー株式会社）

かたるべ会から、5人の知的障害者と平野がワーナーランパートに転職。

当時は障害者雇用＝障害者からの搾取というイメージ。企業で虐待の報道もあった。

そのような背景もあり、「企業に協力することは賛成できない」と多くの批判を受ける。

### <時代背景>

1995年、茨城県水戸市で知的障害者に対する虐待事件（水戸事件）があり、

1998年にはドラマ化した「聖者の行進」が話題となる。

反対意見もあったが、かたるべ会から5人の知的障害者と平野がワーナーランパートに転職。

立ち上げだったため、事業所の場所探しから始め、積極的に社内営業をして、仕事を確保した。

そして、社内で信頼してもらうために仕事は断らず、品質管理にはこだわり、納期は必ず守った。

おかげで信頼を得て、安定して仕事を任されるようになった。

## 2000年

ワーナーランパート株式会社はファイザー株式会社と合併。

ファイザー株式会社 横浜パッケージセンターは安定的な障害者雇用を進め、2017年には

35名の知的障害者と10名の精神障害者を雇用し、模範的な障害者雇用事業所となった。

ハマライゼーションランプリも受賞している。

### \*ハマライゼーション

障害のある人を雇用し、障害のある人が働きやすい職場環境を作るための努力や独自の工夫をおこなっている企業を横浜市が表彰し、その取り組みを紹介する事業。

## 2012年

工藤建設株式会社

当時、障害者雇用で困っていた担当者から相談があり、協力をしたことがきっかけ。

かたるべ会職員1名と社員3名と一緒に工藤建設へ転職をした。

有料老人ホームの清掃を中心に仕事が始まり、調理の仕事まで幅が広がっている。

## 2020年

現在、障害の程度に関わらず、様々な企業で、様々な職種で働いている。

軽作業・清掃・洗浄・家具組立・事務補助・ピッキング・梱包・炊飯・カート回収・品出し等、

一人ひとりの強みを活かした仕事をしている。また、定年退職をする方も増えている。

そして現在、職域開拓として柔軟な働き方を模索し、新しい仕事にチャレンジしている。

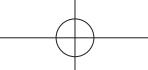
具体的には清掃や販売、演劇や音楽活動等を仕事にしている。



事務補助



家具組立



# 就 労 支 援



## ワーナーランパート株式会社

1992年 6月

ワーナーランパート株式会社 横浜パッケージセンターの開所に協力。時代背景として、障害者雇用＝障害者からの搾取、虐待の意識が蔓延する中、企業に協力する事は賛成できないという多くの批判を受ける。



5人の知的障害者と平野が、  
ワーナーランパート株式会社に転職をする。



## ファイザー株式会社と合併

2000年

ワーナーランパート株式会社は、ファイザー株式会社と合併。横浜パッケージセンターは安定的な障害者雇用を進め、模範的な障害者雇用事業所として成長した。

2007年には、横浜市長表彰受賞もした。



## 工藤建設株式会社

2012年

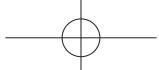
障害者3名と職員1名が、かたるべ会から転職をする。  
有料老人ホームの清掃から、障害者雇用がスタート。



## 横浜パッケージセンター 25周年

2017年

設立25周年記念セレモニーが行われた。  
40名以上の身体・知的・精神障害者が働き、主に販促資材の印刷・梱包・仕分け・発送などの仕事をしている。  
式典では支援学校や横浜市から感謝状が贈られた。



# ■ 障碍者雇用に協力した人たち



元ワーナーランバート株式会社 人事  
**相馬 克己**

かたるべ社から雇用することになったのは、当時作業を頼む繋がりがあり、知っている作業所から雇用しようと考えていたことがきっかけでした。障害者雇用の面接も平野さんと一緒にしていました。パッケージセンターは、重度の人を採用することも役割の一つということを話し合った思い出があります。また、障害があっても接している方の中には人生の先輩もいたわけで、「さん」だけで呼んでいました。普通の会社と同じようにということは意識していましたね。



元ファイザー株式会社 人事  
**間瀬 悟**

平野さんと仕事をしていて、障害者雇用には環境作りが大切だと分かりました。彼らの凄いところはミスが無かったです。一度覚えると、完璧にこなすんです。ファミリーデーがあり、ご家族を会社に招くのですが、働いている姿や楽しんでいる姿を見てもらいたかったですね。ご家族はとても喜んでいました。一般の人と同じ機会をと思い、その日の夕方にはみんなでお酒を飲みました。障害があっても健常者であっても、同じ人ということを実感しました。



ファイザー株式会社 スタッフ (元かたるべ会 職員)  
**新井 由香子**

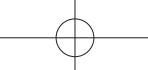
最初はどう関わっていいか、まったく分からなかったですね。休憩時間にあるメンバーさんが好きなアーティストの写真を見せててくれて、それがきっかけで普通に関わればいいんだと気付きました。バーベキューをやった時には、子どもとその友達も誘って参加したり、近所の人を呼んだりして、知ってもらっていました。転職したきっかけはフォークリフトを運転する人が必要だったので、立候補してから免許を取りました(笑) 仕事だけではなく、余暇も一緒に楽しんでいます。



工藤建設株式会社 スタッフ (元かたるべ会 職員)  
**福田 政弘**

障害者雇用の話があり、かたるべ会のメンバーと一緒に転職をしました。清掃の仕事から始まったのは、清掃スタッフが辞めたことがきっかけです。全く分からなかったので、一から部屋の清掃を教えてもらいました。大変なこともあります、仕事が認められてくると、メンバーが入居者の方から名前で呼ばれることも増えてきました。清掃の仕事は“誰かがやればいい”から、“やってとても助かる”と仕事の価値が変わってきたことを実感しています。

\* DATA PROTECT 「注文時、本表示は除去」 ※ 64bit-OS-PC の場合、画像は注文時と同画質の 300dpi ですが、32bit-OS-PC の場合、画像は低画質の 100dpi で表示されています（注文時は、高画質印刷）



# 職域開拓

新しい仕事へのチャレンジ！



2013年 地域清掃活動  
行政の委託による清掃活動  
現在も公園や歩道、駅前等をしている



2013年 肉まん・月餅製造  
法人内では初めての食品製造  
近隣企業や施設等で販売をしている



2014年 講演活動  
大学の授業で講師としての仕事  
毎年4～5校から依頼がある



2016年 D-1グランプリ  
喜劇「トゥーランドット」  
グランプリ受賞



2017年 うれしのキッチン  
健康に配慮した食品製造を開始  
クッキー・ピザ・おからケーキ等



2018年 森と水の祭り  
うれしのが製造した商品を販売  
一般のイベントで相互理解を深めた



2019年 横浜にぎわい座  
演劇公演「自己紹介」  
プロの役者と共に演



2019年 バリアフリーコンサート  
ウィーアーリトルゾンビーズの主題歌  
バンジョークラブが長久允監督と演奏



2019年 大日本プロレス  
リングアナウンサーの職場体験  
清掃やコラボ商品の開発もしている



2019年 東京藝術大学 DOOR  
「アート×福祉」をテーマにした活動  
多様な人々が共生できる社会をつくる

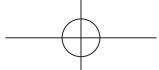


2019年 東京藝術大学 DOOR  
当事者との対話  
－ダイバーシティ実践論－



2020年 小学校清掃活動  
初めての学校内での仕事  
学校内の職域が広がるチャンス

\*DATA PROTECT 「汎文書」本表示は除外】 ※ 64bit-OS-PC の場合、画像は汎文時と同画質の 300dpi ですが、32bit-OS-PC の場合、画像は低画質の 100dpi で表示されています（汎文時は、高画質印刷）



# 生活支援

## 1994年4月

最初のグループホーム、**グリーンハイツ**開設。(当時、都筑区見花山)

しかし、仕事と生活は分けて活動するべきという理由から、

作業所がグループホームをつくるべきではないという批判を受けることもあった。

説明を繰り返し、後援会の協力もあり、グループホームを開設することができた。

### <グループホーム開設の背景>

理事長 平野が中小企業で働いていた頃の話。

親が転勤になって引っ越したり、亡くなったりすると、

障害者本人も仕事を辞めざるを得なかつた。

親がいなくなっていても、その地域に生活する場所があれば、仕事を続けられた人がいた。

そこで、グループホームの必要性を感じていた。

## 2020年4月

その後、一軒家タイプのグループホームの他に、夫婦世帯を含む二世帯住宅や、

アパートタイプのグループホーム等を開設し、かかるべ会には16のグループホームがある。

個々の必要に応じた生活支援のもと、地域で安心して暮らせる社会を実現している。

具体的には、門限なし、仕事帰りに寄り道したり、遊びに行ったり、過剰な管理はせず、

社会人として当たり前に一人ひとりの生活を大事にしている。

また、各ホームがそれぞれの自治会活動にも参加し、地域の中で当たり前に生活をしている。

そして、生活支援はグループホームに限らず、一人暮らし支援もしている。

定期的な訪問やグループホームでの食事の機会等があり、

必要に応じて、金銭管理や通院・役所の付き添い等をしている。

一人ひとりに合わせて、一人ひとりが地域生活を送るための支援をしている。

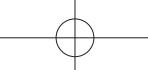


1994年  
当時のグリーンハイツ



食事の様子

\*DATA PROTECT「本文語」本表示は除外】※ 64bit-OS-PCの場合、画像は本文時と同画質の300dpiですが、32bit-OS-PCの場合、画像は低画質の100dpiで表示されています（本文時は、高画質印刷）



# グループホーム

\*DATA PROTECT「表示は除外」本表示は除外】※ 64bit-OS-PCの場合、画像は表示時と同画質の300dpiですが、32bit-OS-PCの場合、画像は低画質の100dpiで表示されています（表示時は、高画質出力）



1997年4月  
ビーンズ



1998年4月  
アムール



1999年4月  
ハイツマモル



2001年4月  
フォレスト



2005年4月  
セルフィッシュ



2006年  
グリーンハイツ移転



2009年4月  
アローズ



2009年8月  
第2ビーンズ



2011年2月  
第2グリーンハイツ



2012年3月  
アポロ



2013年3月  
ジャスパー



2014年3月  
マモルハウス



2015年3月  
スカイ



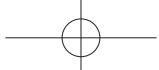
2016年3月  
フラット



2018年3月  
フレンズ



2020年3月  
ビット



# 結婚、子育て支援

## 1991年

知的障碍者の結婚を支援。

障碍者は責任能力が低いため、結婚は難しいのではという多くの反対意見を受ける。

関係者との話し合いを重ねた結果、皆さんの合意を得る。

親戚、関係者が参列し、ホテルにて結婚式を挙げる。

アパートで結婚生活がスタート！

食事、病院、金銭管理などの支援をする。

## 1999年

同棲生活をし、本人・関係者と話し合いを重ね、結婚する。

二世帯住宅のグループホームで結婚生活を支援する。

食事、病院、金銭管理、性生活に関する支援をする。

## 2005年

子育て支援。

知的障碍がある女性の出産について、様々な意見が出る。反対意見もあった。

本人と親御さん、職員、教員等の関係者で2週間毎日話し合いを行う。

最後は本人の「生みたい」という気持ちを大事にして、応援することになった。

中心になって支援をする職員が名乗り出た。

## 2006年

横浜市の中田市長が、かたるべ会を取材。(TVKのテレビ番組「Hi 横濱編集局」)

就労支援と結婚支援、子育て支援について放送された。

## 2014年

二世帯住宅のグループホームで同棲生活を始め、結婚生活を送っている人もいる。



結婚式



ケーキ入刀

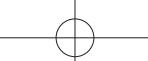


「Hi 横濱編集局」



かたるべ会の生活支援

\*DATA PROTECT [決定版] 本表示は除外] ※ 64bit-OS-PC の場合、画像は決定時と同画質の 300dpi ですが、32bit-OS-PC の場合、画像は低画質の 100dpi で表示されています（決定時は、高画質）



# 余暇支援

## 1995年

移動支援事業として、「横浜ウォーカーズクラブ」を独自に始める。(補助金なし)

## 2000年

### ○生活本舗事業

休日になかなか家から出て来られない方、家族と外出することが多く、なかなか仲間と一緒に遊びに行けない方が参加しやすい様々なイベントの企画を提供している。  
休日の過ごし方がマンネリ化している方も外出経験の機会を増やし、  
余暇の幅が広げられるように取り組んでいる。  
フットサルやゲームサークル等のサークル活動も定期的に開催している。

## 2011年

### ○移動支援事業

移動支援とは外出時のお手伝い（ガイドヘルパー利用）を目的とした事業。  
趣味嗜好は個々によって違うため、個別の余暇をコーディネートしている。  
休日はどう過ごしたらいいのか分からぬ方や、  
一人では出掛けられない場所に行ってみたい方、  
日常生活の買い物の付き添いをしてほしい方等、  
その他、どんな理由でも余暇に関する相談を受けている。

自分の意志で自由に過ごせる環境を実現する。



カラオケランチ



ゲームサークル

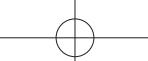


バーベキュー



フットサル

\*DATA PROTECT「本文誌」本表示は除外】※ 64bit-OS-PC の場合、画像は本文時と同画質の 300dpi ですが、32bit-OS-PC の場合、画像は低画質の 100dpi で表示されています（本文時は、高画質印刷）



# 旅行



1991年 サンリオピューロランド



1991年 真鶴サボテンランド



1992年 旅行



1994年 岡崎城観光記念



1994年 八景島シーパラダイス



1995年 向ヶ丘遊園



1995年 群馬サファリパーク



1996年 東京ドーム



1997年 浅草



1997年 伊豆三津シーパラダイス



2007年 マザー牧場

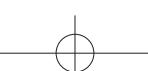


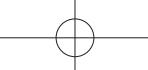
2007年 ホノルルマラソン



2008年 ホノルルマラソン

\*DATA PROTECT「表示時は除く」本表示は除外】※ 64bit-OS-PCの場合は、画像は注文時と同画質の300dpiですが、32bit-OS-PCの場合は、画像は低画質の100dpiで表示されています（注文時は、高画質印刷）





# 入社式

\*DATA PROTECT「表示時は除外」本表示は除外】※ 64bit-OS-PCの場合は、画像は表示時は高画質の300dpiですが、32bit-OS-PCの場合は、画像は低画質の100dpiで表示されています（表示時は、高画質）



1991年 第1回



1992年 第2回



1993年 第3回



1994年 第4回



1995年 第5回



1996年 第6回



1997年 第7回



2003年 第13回



2008年 第18回



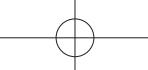
2009年 第19回



2010年 第20回



2011年 第21回



2012年 第22回



2013年 第23回



2014年 第24回



2015年 第25回



2016年 第26回



2017年 第27回



2018年 第28回



2018年 スペシャルゲスト  
萩本欽一さんからのメッセージ

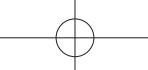


2018年 演出  
ひつじたちが入社式を盛り上げた。



2019年 第29回

\*DATA PROTECT「丸文認証」本表示は除長】※ 64bit-OS-PC の場合、画像は丸文時と同画質の 300dpi ですが、32bit-OS-PC の場合、画像は低画質の 100dpi で表示されています（丸文時は、高画質処理）



# 研修



2008年 バングラディッシュ研修



2008年 バングラディッシュ研修



2008年 バングラディッシュ研修



2008年 バングラディッシュ研修



2009年 タグラグビー研修



2010年 20周年 感謝の集い



2010年 20周年 宿泊研修



2010年 20周年 宿泊研修



2010年 20周年 宿泊研修



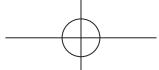
2010年 中国訪問  
障害者団体連合会 訪問



2010年 中国訪問  
障害者団体連合会 訪問



2011年 中国との交流  
障害者団体連合会 訪日



# 職員全体研修

## グループワーク中心の参加型研修

2011年 7月 2日（土）『元気玉を探そう』  
2012年12月 8日（土）『幸福な人とは・・・障礙者の問題は自分の問題』  
2013年 3月16日（土）『内観』  
2013年12月 7日（土）『たいせつなひとたち』  
2014年 3月14日（土）『たいせつなひとたち』  
2014年12月 6日（土）『ありのままの自分』  
2015年 3月28日（土）『働きやすい職場にするためには？』  
2015年12月 5日（土）『R-1グランプリ～支援エピソード編～』  
2016年 3月19日（土）『寛容と本人本位について』  
2016年12月 3日（土）『ピープルファースト横浜から学ぶ』  
2017年 3月25日（土）『オープンダイアローグ』  
2017年12月16日（土）『かたるべ会「誕生から現在・そして未来」

－基本理念・カルチャーチェンジ指針の視点から－』

2018年 3月10日（土）『かたるべ会の将来展望』  
2018年12月15日（土）『誕生から現在・そして未来  
－相互理解、自分の人生を振り返ってみよう－』  
2019年 3月 9日（土）『誕生から現在・そして未来  
－相互理解、自分の人生を振り返ってみよう－』

2019年12月14日（土）『かたるべ会 30年の振り返り』  
2019年度は30周年事業として、ご家族面談・宿泊研修・記念パーティーを行ってきた。  
そして、この職員全体研修が30周年事業の総集編となった。  
平野理事長と丹野副理事長が、かたるべ会が挑戦してきた活動を伝え、未来に向かって話をした。  
「困っている人を助けるのは当たり前、我々の仕事は社会を作ること」

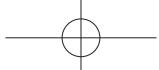


『かたるべ会 30年の振り返り』



勤続20年

\*DATA PROTECT [表示] 本表示は除外] ※ 64bit-OS-PC の場合、画像は表示時は高画質の 300dpi ですが、32bit-OS-PC の場合、画像は低画質の 100dpi で表示されています（表示時は、高画質表示）



# 交流会

障碍者の企業就労と  
生活を考える

## 企業、行政、学校、福祉関係者による交流会

2009年12月 4日（金）『生徒との対話』を軸とした支援ができる組織づくり』

2012年 2月10日（金）『社会的労働、職域開拓』

2012年 7月20日（金）『発達障害児・者の進路、就労、将来について』

2012年10月26日（金）『発達障害者の就労支援、将来について』

2013年 1月31日（木）『障害者と向き合う』

2013年 7月 5日（金）『障害者の恋愛、結婚、子育て』

2013年12月 6日（金）『1年の振り返りと今後の抱負』

2014年 4月25日（金）『たいせつなひとたち』

2014年 8月22日（金）『ありのままの自分』

2014年12月 5日（金）『ありのままの自分』

2015年 5月28日（木）『必要とし合う関係』

2015年10月23日（金）『ありのままの自分』

2016年 2月12日（金）『かたるべきの取り組みと今後の方向性』

2016年 6月 3日（金）『ピープルファースト』

2016年11月25日（金）『「障害者」は実在しない！』

2017年 2月17日（金）『私と福祉・共に生きる

～一つ屋根の下（ファミリーグループホームゆーとぴあ）～』

2017年 7月14日（金）『相互理解』

2017年12月 8日（金）『相互理解』

2018年 6月29日（金）『これからの社会のあり方～仕事、生活、地域社会～』

2018年10月12日（金）『これからの障害者雇用』

2019年 7月 5日（金）『相互理解～ご家族との面談から考える信頼関係～』



懇親会も兼ねて開催した交流会



グループワークの様子

\* DATA PROTECT [表示] 本表示は除外] ※ 64bit-OS-PC の場合、画像は表示時に高画質の 300dpi で描画されますが、32bit-OS-PC の場合、画像は低画質の 100dpi で表示されています（表示時は、高画質表示）



# 創立10周年記念パーティー

2000年

## ○創立10周年記念パーティー

8月 6日（日） 新横浜プリンスホテル

開設当初、「仕事中心のかたるべ会」は批判されていた。

10年後、「仕事中心のかたるべ会」は高く評価された。

10周年記念パーティーで、（当時）横浜市在宅障害者援護協会、酒井理事長のスピーチ。

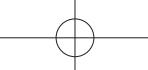
「当初、私は仕事中心のかたるべ会に対して否定的であった。

しかし、今思うと、仕事中心のかたるべ会は先駆的である。

今後も挑戦し続ける、かたるべ会であってほしい。」



\*DATA PROTECT「本文語」本表示は除外】※ 64bit-OS-PC の場合、画像は本文時と同画質の 300dpi ですが、32bit-OS-PC の場合、画像は低画質の 100dpi で表示されています（本文時は、高画質品）



# 創立20周年記念パーティー

2010年

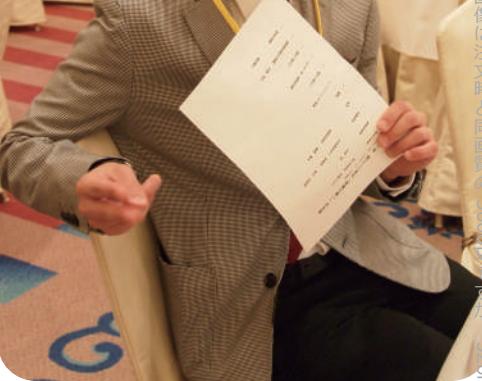
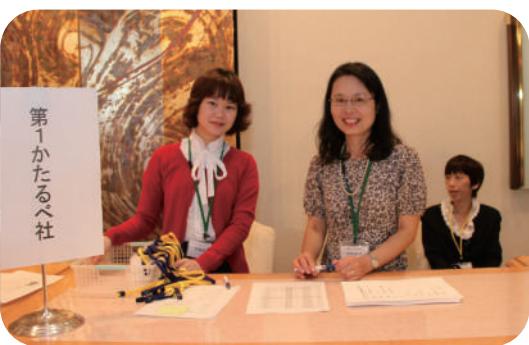
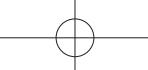
○創立20周年記念パーティー 「感謝の集い」

10月 9日（土） ヨコハマグランドインターナショナルホテル

日頃、お世話になっている皆さんに感謝を伝え、  
輝き人として企業で働く人や、結婚・子育てをしている人を紹介した。  
バンジョークラブの演奏もあり、会場全体が盛り上がっていた。  
参加者からは「楽しみもあり、学びもあるパーティーだった」という言葉もあった。



\*DATA FROTECT「本文語」本表示は除外  
※ 64bit-OS-PC の場合、画像は本文時と同画質の 300dpi ですが、32bit-OS-PC の場合、画像は低画質の 100dpi で表示されています。（本文時は、高画質印刷）



\*DATA PROTECT [注文時、本表示は除く]

\*64bit-OS-PCの場合は、画像は注文時

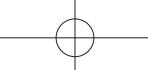
32bit-OS-PCの場合は、画像は注文時

高画質の300dpiで表示されています。(注文時は、高画質印刷)

\*DATA PROTECT [注文時、本表示は除く]

\*64bit-OS-PCの場合は、画像は注文時と同画質で300dpiが表示される場合がある

32bit-OS-PCの場合は、画像は注文時





# 20周年 宿泊研修

\*DATA PROTECT「本文誌」本表示は除外  
※ 64bit-OS-PCの場合は、画像は本文時と同画質の300dpiですが、32bit-OS-PCの場合は、画像は低画質の100dpiで表示されています（本文時は、高画質印刷）

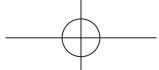
**2010年**

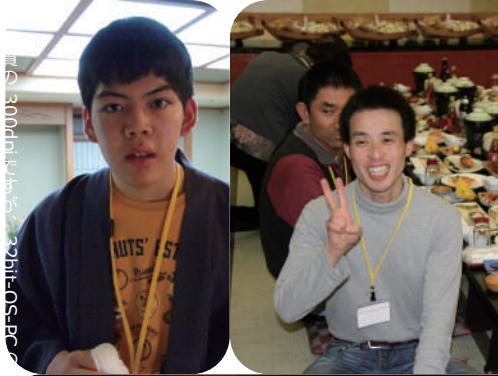
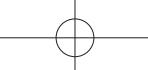
○宿泊研修 「認め合い、高め合い、一体感」

**11月20日（土）～21日（日）西伊豆土肥温泉 土肥ふじやホテル**

一人ひとりの強みに注目し、ご家族とグループワークをし、  
一人ひとりの強みに注目した“感謝メッセージ”を全員に配った。  
小さい頃から、否定され続けている人は多く、良いところを認められ、  
褒められる経験は、多くの人が初めてで、嬉しそうな表情が印象的だった。  
ご家族も子どもが褒められるのは初めてのことでのことで、感動して涙を流している人もいた。  
この時の“感謝メッセージ”を額に入れて、飾っているご家族もいる。



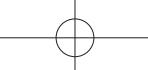




\*DATA PROTECT [DATA]、本表示は除却。※ 64bit-OS-PCの場合は、画像は決文語で回面で、300dpiで表示される。

※ 300dpiで表示される。22bit-OS-PCの場合は、

画面は低画質の100dpiで表示される。また、決文語は、高画質印刷。



# 30周年 宿泊研修

\*DATA PROTECT [表示解除] 本表示は除外] ※ 64bit-OS-PC の場合、画像は表示時と同画質の 300dpi ですが、32bit-OS-PC の場合、画像は低画質の 100dpi で表示されています（表示時は、高画質表示）

**2019年**

**30周年事業「誕生から現在・そして未来」－差別・偏見から、相互理解へ－**

## ○宿泊研修

**9月28日（土）～29日（日） 勝浦ホテル三日月**

昔の大変だった話（差別・偏見）や楽しかった話をご家族とグループワークをした。

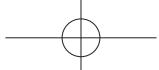
世代を超えて、共通な話題もあり、ご家族同士で大変盛り上がった。

その中で家族間のコミュニケーションの必要性を感じ、特に父親のコミュニケーション、父親の参加が少なかったこともあり、後援会が父親の会を発足することになった。

地域社会で支え合うことはもちろん、家庭内で支え合うことの大切さに改めて気付いた。

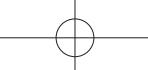


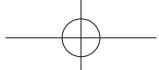




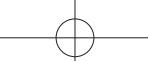
\*DATA PROJECT [HTX持、本版はめ途版] ※ 64bit-OS-PCの場合は画像は高画質の300dpiで表示される。32bit-OS-PCの場合、画像は低画質の100dpiで表示される。(HTX持、高画質印刷)







34



# 創立30周年記念パーティー

2019年

30周年事業 「誕生から現在・そして未来」 - 差別・偏見から、相互理解へ -

## ○創立30周年記念パーティー

11月 3日（日） 横浜ベイホテル東急

地域社会との相互理解をテーマに開催。

バンジョークラブや演劇も、プロのアーティストや役者と共に演をする。

30周年を振り返ったドキュメンタリー映画もプロの方からアドバイスをいただいた。

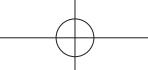
会場が一体となる演出もあり、相互理解を感じるパーティーとなった。

[30周年記念取材動画]

<https://www.youtube.com/watch?v=AhNvzTxlvjs&feature=youtu.be>



\*DATA PROTECT「本文語」本表示は除外】※ 64bit-OS-PC の場合、画像は本文時と同画質の 300dpi ですが、32bit-OS-PC の場合、画像は低画質の 100dpi で表示されています（本文時は、高画質処理）

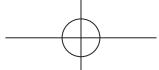
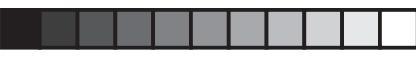


\*DATA PROJECT [本文書、本表示は除外]

\* 64bit-OS-PC の場合、画像は低画質

高画質の 300dpi) だが、32bit-OS-PC の場合、画像は低画質の 100dpi 表示される。

※、画面は低画質の 100dpi で表示されています。(本文書は、高画質印刷)



\*DATA-PROJECT [注文時、本表示は除去] ※ 64bit-OS-PC の場合、画像は注文時  
[高画質の 300dpi] だが、32bit-OS-PC の場合、画像は低画質の 100dpi で表示される。 (注文時は、高画質印刷)

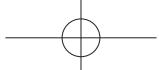


## かたるべ会 創立30周年記念パーティー

\*DATA PROTECT「注文時、本表示は除去」

\* 64bit-OS-PCの場合は、画像は低画質の300dpiである。32bit-OS-PCの場合は、画像は高画質の100dpiで表示されています。(注文時は、高画質希望)

※ 64bit-OS-PCの場合は、画像は低画質の100dpiに表記されています。(注文時は、高画質希望)



### ○かたるべ会後援会 会長 兼崎 建夫（写真左）

法人創立後、程なく後援会が立ち上がり、早や四半世紀が経過しました。法人の健全で発展的な運営を願う後援会として、30周年を迎えた法人の姿に先ずは敬意を表したいと思います。会員の高齢化が進み、親（家族）亡きあの利用者の生活について切実に心配する声が多くなりました。今後の後援会活動の課題です。

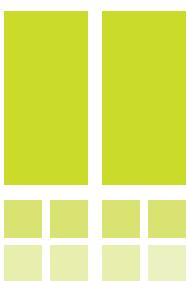
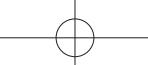
### ○自治組織 ナチュラルファースト会長 佐久間 健次郎（写真右）

私は今までホームレスでしたけど、かたるべに会えてとても嬉しかったです。なぜならば、家や食事があってとても嬉しかったですし、楽しい生活です。かたるべに入りまして、人と出会いや仕事がありまして、すごく嬉しいです。日々、毎日かたるべに来るのが楽しいです。ありがとうございます。



\*DATA PROJECT [注文時、本表示は除去]  
※ 64bit-OS-PCの場合は、画像は低画質の300dpiで表示されます。注文時は、高画質印刷

47、画像は低画質の100dpiで表示されています。（注文時は、高画質印刷）



\*DATA PROTECT [決文語] 本表示は除外] 紙面で表示される際は、64bit-OS-PCの場合は、32bit-OS-PCの場合は、画像は決文時と同画質の300dpiですが、32bit-OS-PCの場合は、画像は低画質の100dpiで表示されてしまう（決文時は、高画質出稿）

※ 64bit-OS-PC の場合、

画像は決文時と同画質の300dpiですが、32bit-OS-PCの場合は、画像は低画質の100dpiで表示されてしまう（決文時は、高画質出稿）

（決文時は、高画質出稿）

# 社会福祉法人かたるべ会

〒226-0003 横浜市緑区鴨居1-8-6

TEL 045-935-7699 FAX 045-935-7665

MAIL ktrb-00@katarube.com

HP <http://www.katarube.com>